弓肖	门门门门口	1 77 71 1 7 7	交 開講年度					機関システ	
科目基礎			1	度 令和04年度					
科目番号		0028			科目区分	ī		5	
受業形態		授業					学修単位: 2		
取案心态 開設学科		12素 海上輸送システム工学専攻			対象学年			_	
開設期		前期			週時間数	2			
*************************************	%1±±			(コロナサ) ミフニ					
				(コロノ社) システ	人了五工子:亦不新川(共立山城)				
日当教員		中村 勇	루/묘						
到達目	-								
鉛船運航	管理技術	を十分に理解	なる						
レーブ	<u>リック</u>								
				レベルの目安	標準的な到達し			未到達レベ	ルの目安
		础	システム工学の基礎理論を説明できる。		システム工学の基礎理論を理解できる。		システム工学の基礎理論を理解		
/ヘ,							きない。		
		舶用機関にお 応用例を説明	けるシステム工学の Iできる	舶用機関におけるシステム工学の 応用例を理解できる。			舶用機関に	おけるシステム工学 解できない。	
平価項目	າ		ルル州が近畿が	1600	ルル州が近洋路	_ ⊂ ⊘。		心用物で珪	Mf Cさない。
		#IF [] A							
		票項目との							
門 A1	専門 A2	教養 B1 教養	B2 教養 C1 教養	C2 教養 C3 教養 D	L 専門 E2 専門 E3				
效育方法	法等								
技術を!			関システムを,船舶システムのうちの一つのサブシステムとして捉え,海洋上で多くの外乱を受ける特殊環境下 舶用機関システムの,運航上の安全性と信頼性を向上させ,海難事故の発生を抑制するのに必要な船舶運航管理 学ぶ。 講義を基本とする。教科書に沿って教授し、補助としてプリント及び演習を行う。						
主意点		講義1	時間につき2時間の	予習・復習等を行う	こと。				
		到達目	標に達しない場合の	の学生への対応は適[宜,補講等により対	対応する。			
実務経	験のある	る教員によ	る授業科目						
		おける船舶機	関管理業務を担当		の経験を活かし、き	システムの	種類、特性	生、手法等の	技術について講義形
で授業を	行う。								
受業の	属性・履	夏修上の区	<u>分</u>						
	属性・原 ティブラ-		分 □ ICT 利用		□ 遠隔授業対	応		☑ 実務経懸	倹のある教員による 技
					□ 遠隔授業対	応		☑ 実務経駒	倹のある教員による 抗
」 <i>アク</i> :	ティブラ-				□ 遠隔授業対	応		☑ 実務経験	剣のある教員による 抗
」 <i>アク</i> :	ティブラ-	ーニング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対)到读日樗	☑ 実務経験	倹のある教員による 抗
アクラ	ティブラ-	一二ング	□ ICT 利用 授業内容		□ 遠隔授業対	週ごとの)到達目標		
」 <i>アク</i> :	ティブラ-	-ニング 週 1週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システ <i>L</i>	ム工学の概	要が理解でき	-ేవె.
」 <i>アク</i> :	ティブラ-	ーニング 週 1週 2週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システム工学の	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システ <i>L</i> システ <i>L</i>	ム工学の概 ム工学の概	要が理解でき	- 3. - 3.
」 <i>アク</i> :	ティブラ-	-ニング 週 1週 2週 3週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システム工学の システムの計画	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システ <i>L</i> システ <i>L</i> システ <i>L</i>	△工学の概 △工学の概 △のニーズ	要が理解でき 要が理解でき に関する調査	る。 る。 :方法が理解できる。
」 <i>アク</i> :	ティブラ-	-ニング 週 1週 2週 3週 4週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システム工学の システムの計画 システムの計画	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システ <i>L</i> システ <i>L</i> システ <i>L</i>	△工学の概 △工学の概 △のニーズ △のニーズ	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査	る。 る。
] アク:	ラィブラ・	-ニング 週 1週 2週 3週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システム工学の システムの計画	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システ <i>L</i> システ <i>L</i> システ <i>L</i> システ <i>L</i>	ム工学の概 ム工学の概 ムのニーズ ムのニーズ ムのニーズ	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査	る。 る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。
] アク:	ティブラ-	-ニング 週 1週 2週 3週 4週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システム工学の システムの計画 システムの計画	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システム システム システム システム システム	ム工学の概 ム工学の概 ムのニーズ ムのニーズ ムのニーズ	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査	る。 る。
] アク:	ラィブラ・	リリスティア - ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 6週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システ/ システ/ システ/ システ/ システ/ システ/ システ/ る。	ム工学の概。 ム工学の概。 ムのニーズ ムのニーズ ムのニーズ ムの最適化	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査 に関する調査	る。 る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解で
] アクラ	ラィブラ・	ルーニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システム工学の システムの計画 システムの計画 システムの計画	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システ/ システ/ システ/ システ/ システ/ システ/ システ/ る。	ム工学の概。 ム工学の概。 ムのニーズ ムのニーズ ムのニーズ ムの最適化	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査 に関する調査	る。 る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。
] アクラ	ラィブラ・	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの記計	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システ/ システ/ システ/ システ/ システ/ システ/ る。 システ/ る。	ム工学の概。 ム工学の概。 ムのニーズ ムのニーズ ムのニーズ ムの最適化。 ムの最適化。	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査 に関する調査 設計や信頼性 設計や信頼性	る。 る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解で
] アク:	ラィブラ・	リリスティア - ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 6週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システム システム システム システム システム る。 システム る。	A工学の概 A工学の概 Aのニーズ Aのニーズ Aのニーズ Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査 に関する調査 設計や信頼性 設計や信頼性	る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 決法が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で
」 <i>アク</i> ₹計i	ラィブラ・	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの記計	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システム システム システム システム システム る。 システム る。 システム	A工学の概 A工学の概 Aのニーズ Aのニーズ Aのニーズ Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査 に関する調査 設計や信頼性 設計や信頼性	る。
」 <i>アク</i> ₹計i	ラィブラ・	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	□ ICT 利用 授業内容 システムエ学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの記計 システムの設計	概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システム システム システム システム システム システム る。 システム システム システム システム	A工学の概 A工学の概 Aのニーズ Aのニーズ Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査 設計や信頼性 設計や信頼性 設計や信頼性	る。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「設計の概要が理解で 「設計の概要が理解で 「設計の概要が理解で
」 <i>アク</i> ₹計i	ラィブラ・	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	□ ICT 利用 授業内容 システムエ学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの記計 システムの設計	概要概要	□ 遠隔授業対	週ごとの システム システム システム システム システム システム システム システム	A工学の概 A工学の概 Aのニーズ Aのニーズ Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化	要が理解でき 要が理解でき に関する調査 に関する調査 設計や信頼性 設計や信頼性 設計や信頼性	る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 決法が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で
」 <i>アク</i> ₹計i	ラィブラ・	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計	□遠隔授業対	週ごとの システム シスステム シスステム シススススス。 シシスススス。 シシる。 シススススス。 シンステム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム	A工学の概 A工学の概 Aのニーズ Aのニーズ Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化	要が理解できた関する調査に関する調査に関する調査に関する調査に関する調査を関する調査を関する調査を関する標性を対ける無性を対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、	る。 活ったが理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で しーション技術の役
」 <i>アク</i> ₹計i	ラィブラ・	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの設計 システムの設計	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計	□ 遠隔授業対	週ごとの システム シスステム シスステム シススススス。 シシスススス。 シシる。 シススススス。 シンステム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム シンスアム	A工学の概 A工学の概 Aのニーズ Aのニーズ Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化	要が理解できた関する調査に関する調査に関する調査に関する調査に関する調査を関する調査を関する調査を関する標性を対ける無性を対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、	る。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「設計の概要が理解で 「設計の概要が理解で 「設計の概要が理解で
」 <i>アク</i> ₹計i	ラィブラ・	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計	□ 遠隔授業対	週ごとの システム シスステム シススススススススススススススススススススススススススス	A工学の概 A工学の概 Aのニーズ Aのニーズ Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化 Aの最適化	要が理解できた関する調査に関する調査に関する調査に関する調査に関する調査を関する調査を関する調査を関する標性を対ける無性を対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、	る。 る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で しーション技術の役 レーション技術の役
」 <i>アク</i> ₹計i	ラィブラ・	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要	□遠隔授業対	週ごスススススススススススススススススススススススススススススススススススス	A工学の概: A工学の概: Aのニーズ Aのニーズ Aの最適化: Aの最適化: Aの最適化: Aの設計にできる。 Aの設計にできる。 Aの設計にできる。	要が理解できている調査に関する調査に関する調査に関する調査に関する調査を設計や信頼性設計や信頼性設計や信頼性おけるシミュおけるシミュなけるションを対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	る。 る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で しーション技術の役 レーション技術の役
」 <i>アク</i> ₹計i	声ィブラ- 画 1stQ	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの記計 システムの記計 システムの記計	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要	□ 遠隔授業対	週シシシシるシるシるシがシがシる舶舶。	ム工学の概なのニーズムのニーズムの最適化は なの最適化にできる。 なの設計にできる。 なの設計にできる。 なの最適化	要が理解できている調査に関する調査に関する調査に関する調査に関する調査を設計や信頼性設計や信頼性設計や信頼性対けるシミュおけるシミュおけるショニなけるショニなけるショニなけるショニなけるショニなけるショニなけるショニないでででである。	る。 活えが理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で しーション技術の役 レーション技術の役 にきる。
」 <i>アク</i> ₹計i	声ィブラ- 画 1stQ	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要 ムの運用管理	□ 遠隔授業対	週シシシシるシるシるシがシがシる舶舶。	ム工学の概なのニーズムのニーズムの最適化は なの最適化にできる。 なの設計にできる。 なの設計にできる。 なの最適化	要が理解できています。 要が理解できています。 で関する調査では関する調査では関する調査では関する調査では関するに関するに関するに関すをに関すをに関するシミュなけるシミュなけるシミュなけるシミュなけるシミュなけるシミュなけるシミュなけるシミュないでは関する更に関するでは関するでは、	る。 活えが理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で しーション技術の役 レーション技術の役 に対すの概要が理解で
」 <i>アク</i> ₹計i	声ィブラ- 画 1stQ	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要 ムの運用管理	□ 遠隔授業対	週シシシシシるシるシがシがシる舶舶。舶。 舶。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ム工学の概な	要が理解できています。 要が理解できています。 で関する調査では関する調査では関する調査では関するに関するに関するに関するに関すをに関けをはいます。 を対していますができない。 を対していますができない。 を対していますができない。 を対していますができない。 を対していますが、できない。 を対していますが、できない。 を対していますが、できない。 を対していますが、できないますが、できないますが、 といまが、これに関するできない。 といまが、これに関するできない。 といまが、これに関するできないますが、これに関するできない。 といまが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するに関するに関するに関するに関するに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというできない。これに関するというできないますが、これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというできないますが、これに関するというできない。これに関するというできないますが、これに関するというできないますができない。これに関するというできないますが、これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというできないまからは、これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというできない。これに関するというでは、これに関するというできない。これに関するというでは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これには、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これには、これに関するとのは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	る。 おうなが理解できる。 お方法が理解できる。 お方法が理解できる。 お方法が理解できる。 お方法が理解できる。 おおが理解できる。 おおが理解できる。 おおが理解できる。 おおい概要が理解で はいーション技術の役 レーション技術の役 というョン技術の役 は計の概要が理解できる。
」 <i>アク</i> ₹計i	声ィブラ- 画 1stQ	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 カミュレーショ シミュレーショ 舶用機関システ 舶用機関システ 舶用機関システ	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要 ムの運用管理	□遠隔授業対	週シシシシシるシるシがシがシる舶舶。舶。舶・舶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユニ学の概 ユニタの概 ユニーズ ムのニーズ ムのニーズ ムのこーズ ムの最適化 ムの最適化 ムの最適化 ムの最適化 ムの最適 計に、 ムの表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表	要が理解できています。 要が理解できています。 で関する調査では関する調査では関する調査では関するに関するに関するに関するに関すをに関けをはいます。 を対していますができない。 を対していますができない。 を対していますができない。 を対していますができない。 を対していますが、できない。 を対していますが、できない。 を対していますが、できない。 を対していますが、できないますが、できないますが、 といまが、これに関するできない。 といまが、これに関するできない。 といまが、これに関するできないますが、これに関するできない。 といまが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するできないますが、これに関するに関するに関するに関するに関するに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというできない。これに関するというできないますが、これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというできないますが、これに関するというできない。これに関するというできないますが、これに関するというできないますができない。これに関するというできないますが、これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというできないまからは、これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというできない。これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというでは、これに関するというできない。これに関するというでは、これに関するというできない。これに関するというでは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これには、これに関するとのは、これに関するとのは、これに関するとのは、これには、これに関するとのは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	る。 活えが理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で しーション技術の役 レーション技術の役 にきる。
」 <i>アク</i> ₹計i	声ィブラ- 画 1stQ	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	□ ICT 利用 授業内容 システムエ学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 シミュレーショ シミュレーショ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要 ムの運用管理 ムの運用管理 ンによる教育訓練	□ 遠隔授業対	週シシシシシるシるシがシがシる舶舶。舶割の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船の船	ユニ学の概: ユニ学の概: ムのニーズムのニーズムの最適化: ムの最適化: ムの最適化: ムの最適化: ムの最適化: ムの最適化: コンステムは、これできる。 同システムは、これできる。	要が理解でき 要が理解でき に関する調調査 に関するる調調査 に関するる調査 設計や信頼性 設計や信頼性 おけるシミュ 設計や信頼性 おけるシミュ の概要するる で関するる で関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する に	る。 る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で しーション技術の役 レーション技術の役 できる。 管理技術が理解でき コレーション技術の できる。 管理技術が理解でき コレーション技術の
」 <i>アク</i> ₹計i	声ィブラ- 画 1stQ	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週 14週	□ ICT 利用 授業内容 システムエ学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 シミュレーショ シミュレーショ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要 ムの運用管理	□遠隔授業対	週シシシシシるシるシがシがシる舶舶。舶割舶 シススススス。ス。ス。ス理ス理ス。用用用が用 用が用乗す解す解する。 大型では、 がり、 がり、 がり、 がり、 がり、 がり、 がり、 がり	ユニ学の概: ユニ学の概: ムのニーズムのニーズムの最適化: ムの最適化: ムの最適化: ムの最適化: ムの最適化: ムの最適化: コンステムは、これできる。 同システムは、これできる。	要が理解でき 要が理解でき に関する調調査 に関するる調調査 に関するる調査 設計や信頼性 設計や信頼性 おけるシミュ 設計や信頼性 おけるシミュ の概要するる で関するる で関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する に	る。 おうなが理解できる。 お方法が理解できる。 お方法が理解できる。 お方法が理解できる。 お方法が理解できる。 おおが理解できる。 おおが理解できる。 おおが理解できる。 おおい概要が理解で はいーション技術の役 レーション技術の役 というョン技術の役 は計の概要が理解できる。
□ アクラ 受 業 計[更 and and a service of the servic	- ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	□ ICT 利用 授業内容 システムエ学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 シミュレーショ シミュレーショ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要 ムの運用管理 ムの運用管理 ンによる教育訓練	□遠隔授業対	週シシシシシるシるシがシがシる舶舶。舶割舶 シススススス。ス。ス。ス理ス理ス。用用用が用 用が用乗す解す解する。 大型では、 がり、 がり、 がり、 がり、 がり、 がり、 がり、 がり	エ学の概: 「エ学の概: 「カースズ」のニーズスのの最適には、「なの最適値には、」である。 「できるの最適値には、「できる。」できる。 「ロースズング」の最適値には、「できる。」できる。 「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング)が、ロースズング)が、ロースズング、「ロースズング)が、ロースズング、ロースズング)が、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースグング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースグング、ロースズング、ロースズング、ロースグング、ロースグング、ロースズング、ロースグ、ロースグング、ロースグング、ロースグ、ロースグング、ロースグ、ロースグング、ロースグング、ロースグング、ロースグング、ロースグング、ロースグ、	要が理解でき 要が理解でき に関する調調査 に関するる調調査 に関するる調査 設計や信頼性 設計や信頼性 おけるシミュ 設計や信頼性 おけるシミュ の概要するる で関するる で関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する に関する に	る。 る。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 方法が理解できる。 設計の概要が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で しーション技術の役 レーション技術の役 できる。 管理技術が理解でき コレーション技術の できる。 管理技術が理解でき コレーション技術の
□ アクラ 受 業 計[画 a lstQ 2ndQ	リリスティア は できます は に しゅう は に しゅる は に しゅう は に	□ ICT 利用 授業内容 システム工学の システムの計画 システムの計画 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 システムの記計 シミュレーショ シミュレーショ 舶用機関システー 舶用機関システー シミュレーショ	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要 ムの運用管理 ムの運用管理 ンによる教育訓練 ンによる教育訓練		週シシシシシるシるシがシがシる舶舶。舶割舶割 一	ユニ学の概な ユニーズ ムのニーズ ムの 最適 値 化 ムの 最適 値 にきる の 最	要が理解できき 要が理解できき では関すする。 では関すする。 では関すないでは、 では関すないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る。 活力法が理解できる。 活力法が理解できる。 活力法が理解できる。 設計の概要が理解できる。 設計の概要が理解で 設計の概要が理解で レーション技術の役 しーション技術の役 にきる。 管理技術が理解できる。 管理技術が理解できる。
ファクラ 受業計1	画 and and and and and and and and and and	-ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週 14週 15週 16週	□ ICT 利用 授業内容 システムエ学の システムの計画 システムの計画 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの計画 システムの計 シミュレーショ シミュレーショ ・シミュレーショ ・シミュレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの運用管理 ムの運用管理 ンによる教育訓練 ンによる教育訓練	態度	週シシシシるシるシるシがシがシる舶舶。舶割舶割 ポート で ススススス。ス。ス。ス理ス理ス。用用 用が用が用が用が ディア 大	エ学の概: 「エ学の概: 「カースズ」のニーズスのの最適には、「なの最適値には、」である。 「できるの最適値には、「できる。」できる。 「ロースズング」の最適値には、「できる。」できる。 「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング」が、「ロースズング)が、ロースズング)が、ロースズング、「ロースズング)が、ロースズング、ロースズング)が、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースグング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースズング、ロースグング、ロースズング、ロースズング、ロースグング、ロースグング、ロースズング、ロースグ、ロースグング、ロースグング、ロースグ、ロースグング、ロースグ、ロースグング、ロースグング、ロースグング、ロースグング、ロースグング、ロースグ、	要が理解でき で関する調査 に関するる調査 に関するる の間で で関する の間で で関する の間で で関する のに で のに に 関する に 関する に 関する に 関すか に 関すか に 関すか に 関すか に 関すか に 関 い に し い り い し い し い し に し い し に し に し に し に し に し	る。
ファクラ 受業計1 対期	画 and and and and and and and and and and	-ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	□ ICT 利用 授業内容 システムエ学の システムの計画 システムの計画 システムの計画 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの記計 シニュレーショ シミュレーショ 舶用機関システ 舶用機関システ ・シミュレーショ シミュレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの概要 ムの運用管理 ムの運用管理 ンによる教育訓練 ンによる教育訓練	態度	週シシシシ シる シる シが シが シる 舶 舶。 舶割 舶割 ポロ の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ユニ学の概な ユニーズ ムのニーズ ムの 最適 値 化 ムの 最適 値 にきる 最	要が理解できき で関すする で関すする に関すする の に関すする の に関すする の に関すする の に関すな の に の に の に の に の に の に の に の の の の の	る。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。 設計の概要が理解で しーション技術の役 しーション技術の役 に設計の概要が理解で に対すの概要が理解で に対する。 「管理技術が理解できる。」 「管理技術が理解できる。」 「管理技術が理解できる。」 「管理技術が理解できる。」 「管理技術が理解できる。」 「管理技術が理解できる。」 「管理技術が理解できる。」 「管理技術が理解できる。」 「管理技術が理解できる。」 「自力を表現している。」 「方法が理解できる。 「方法が理解できる。」 「おより、理解できる。」 「方法が理解できる。」 「おより、理解できる。」 「おより、理解できる。」 「おより、理解できる。」 「おより、理解できる。」 「おより、理解できる。」 「カンド・ディート・ディート・ディート・ディート・ディート・ディート・ディート・ディート
	画 all all all all all all all all all all	-ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週 14週 15週 16週	□ ICT 利用 授業内容 システムエ学の システムの計画 システムの計画 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの設計 システムの計画 システムの計 シミュレーショ シミュレーショ ・シミュレーショ ・シミュレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ ・ジョンレーショ	概要 概要 ンによる設計 ンによる設計 ンによる設計 ムの運用管理 ムの運用管理 ンによる教育訓練 ンによる教育訓練	態度	週シシシシるシるシるシがシがシる舶舶。舶割舶割 ポート で ススススス。ス。ス。ス理ス理ス。用用 用が用が用が用が ディア 大	ユニ学の概な ユニーズ ムのニーズ ムの 最適 値 化 ムの 最適 値 にきる 最	要が理解でき で関する調査 に関するる調査 に関するる の間で で関する の間で で関する の間で で関する のに で のに に 関する に 関する に 関する に 関すか に 関すか に 関すか に 関すか に 関すか に 関 い に し い り い し い し い し に し い し に し に し に し に し に し	る。